

郷土資料館 サマースクールの様子 昔むかしのべつかい 勾玉づくり

と き 平成 25 年 8 月 1 日・2 日
午後 1 時 30 分～3 時 30 分
と ころ 別海町郷土資料館 研修室
講 師 石渡一人（別海町郷土資料館主査）
参加者数 33 名（子ども 30 名・大人 3 名）

はじめに、別海町の大昔のお話しをしました。縄文時代の遺跡、土器、石器、人骨など遠い昔から生活の営みがあったことがわかったかと思います。そうした中で、縄文人が装飾品として身に付けていた「勾玉」作りに挑戦しました。石は滑石を使いサンドペーパーで真剣に削りました。2時間ほどで思い思いの勾玉が完成しました。参加してくれた小学生は夏休みの工作として出品するそうです。



参加者の感想

●くろうしたけどやったかいたがあった。●すぐたのしかったです。またやりたいです。●かんたんと思ったけどかんたんじゃなかった。●説明も分かりやすいから上手にできる。小さいやつも作りたい。

●いろんな色のまが玉を作りたい。やっぱり、自分で形を作りたい。●さいしょ学校でやってうまかったの、今回もやろうと思ってやりました。またやりたいです。●頑張って削っていくと、どんどん、まが玉らしくなっていったのですごく楽しかった。最後の水の中で磨いた時にツルツルスベスベした感触が気持ち良かったです。ありがとうございました。●初めてだったので、うまく出来るか心配だったけど、うまくできてうれしかった。●けずるのがちょっと大変だったけど、うまくできてよかった。また、来年もまが玉作りをしたい。みんなでいっしょに作ったのがたのしかった。

